

# きみならどうする？

え  
絵：ふう

ぶん  
文：ひいふうみい

ふくちやまし ぼうさい  
福知山市 コドモ防災

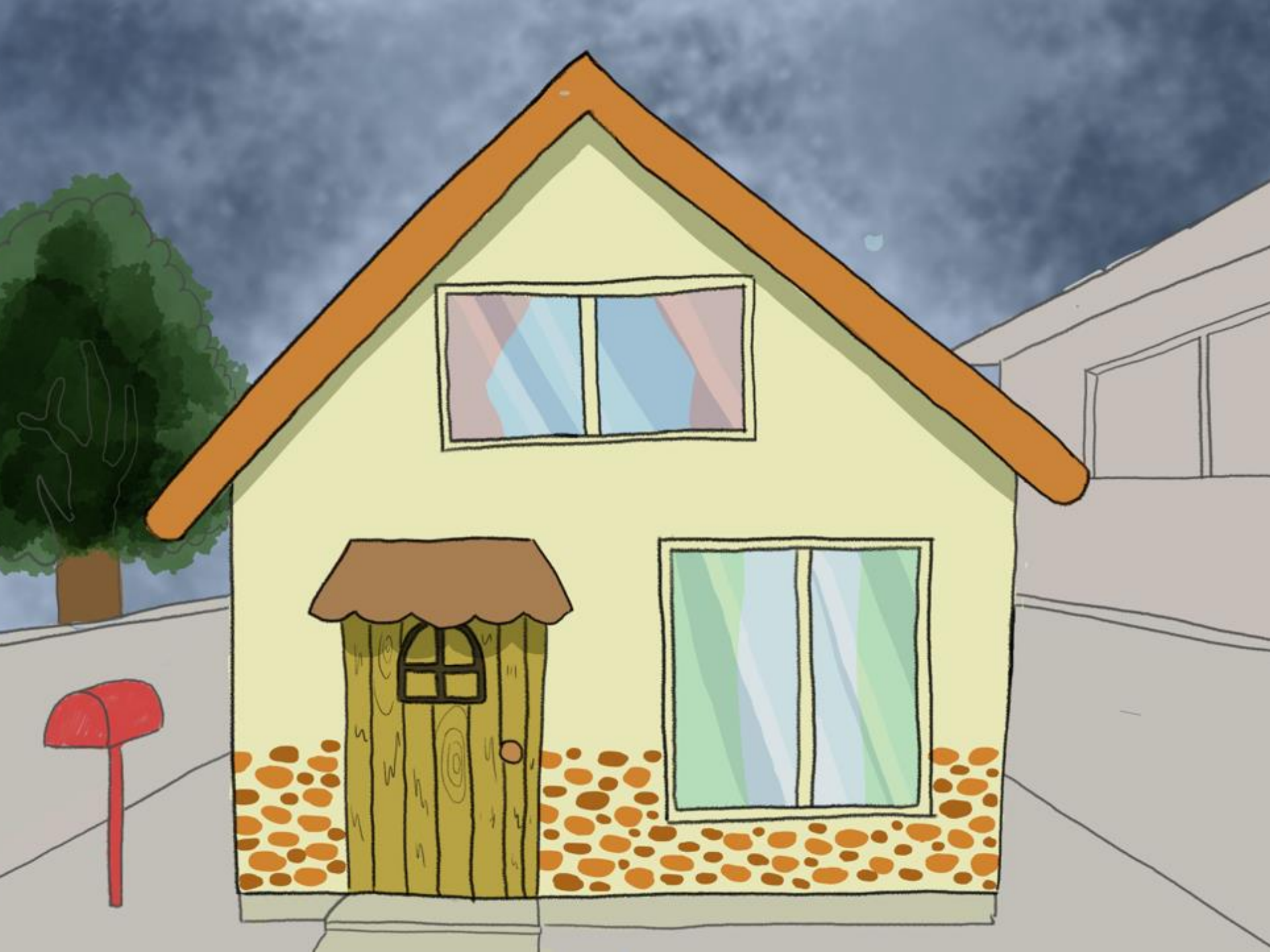




②

明日(あした)、まーくんの住(す)んでるところ  
に、雨(あめ)が降(ふ)るらしいよ。

とっても大雨(おおあめ)なんだって。





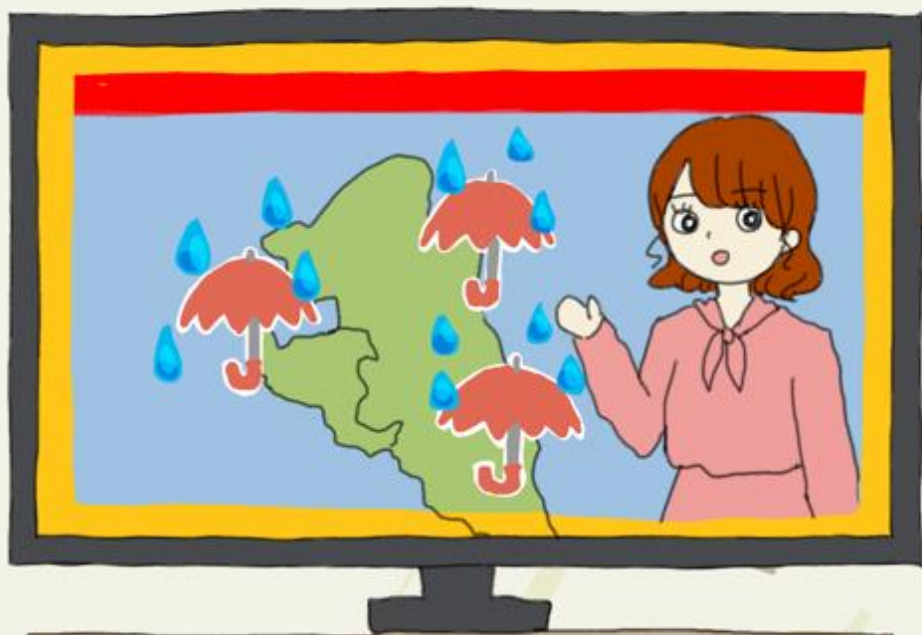
③

ウーウー。

外でサイレンが鳴ってるよ。

天気予報でも明日、福知山に大雨が降るって  
言ってるよ。







④

パパが「うちは大雨が降ったら家の中に水が入ってきて大変だから、2階に逃げようね。」

するとママが、「それなら一緒に準備をしよう!」と言いました。

いったい、何を準備したらいいのかな?

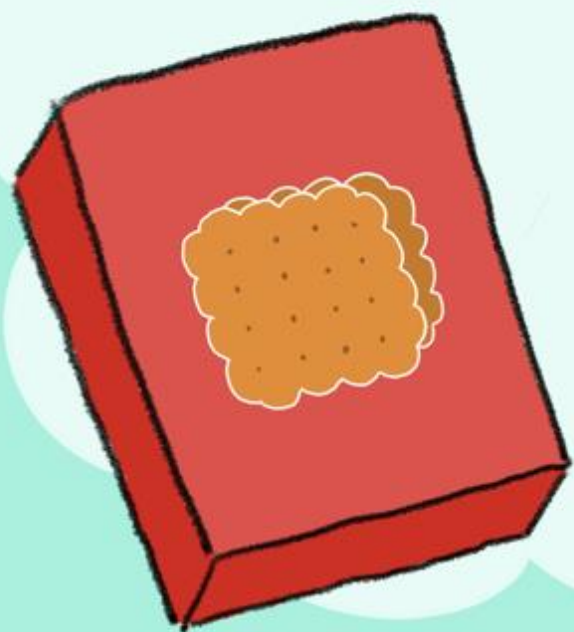


「ママはみんなのご飯と飲み物を  
カバンにつめるね。」



⑤

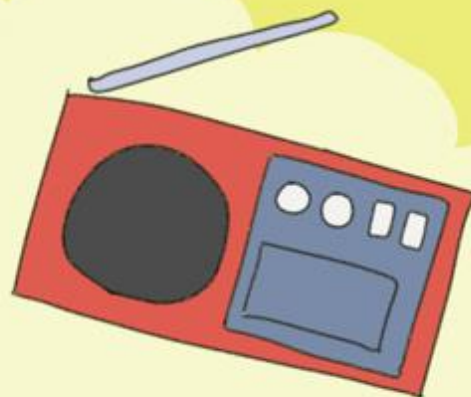






⑥

「じゃあパパは、  
ライトと避難グッズを  
準備しよう。」





⑦

まーくんは、  
「じゃあぼくは、いつも一緒にいるくまの  
マロン君と大事にしている消防車を  
もっていいのかな。」  
と言いました。







⑧

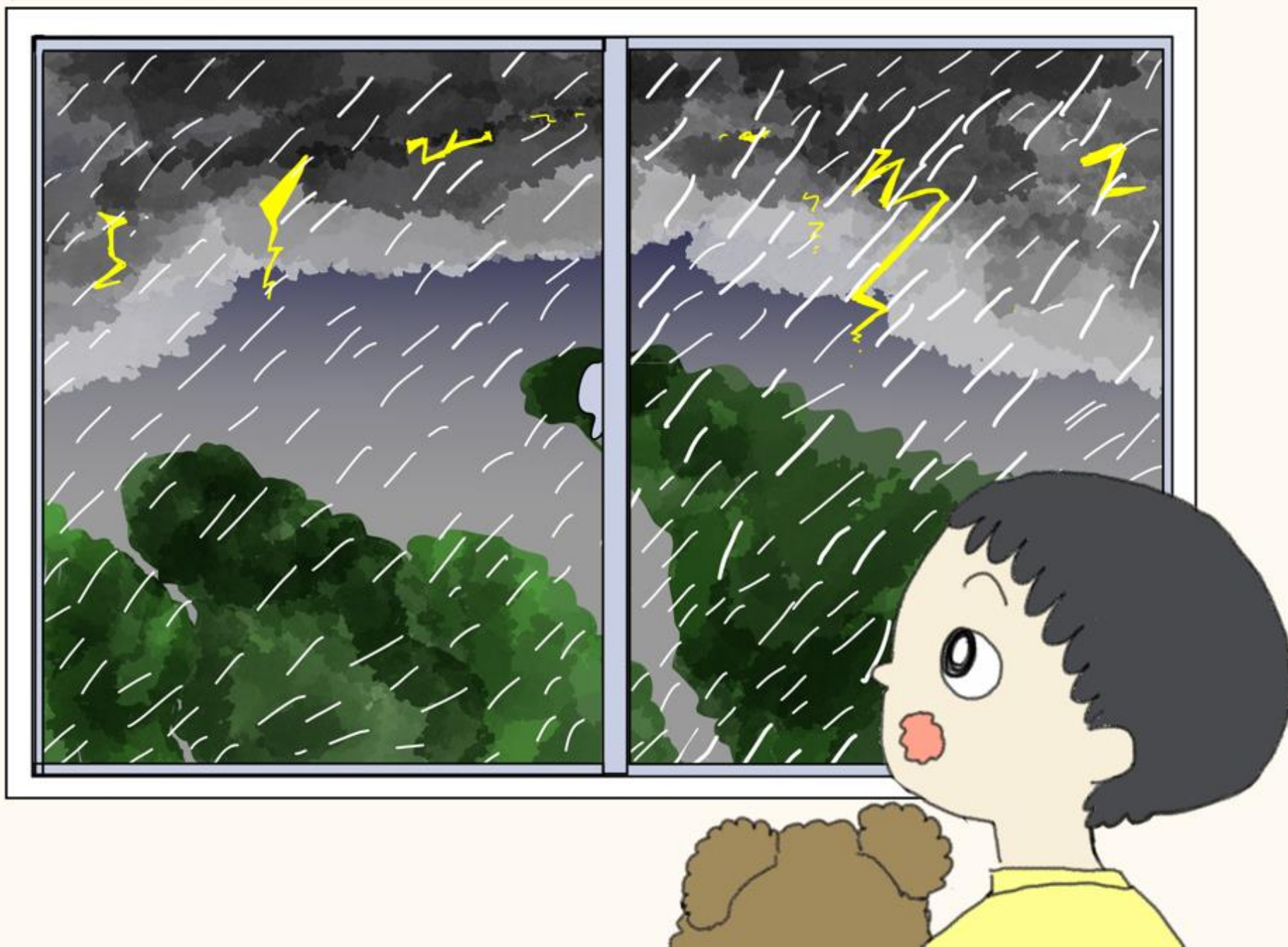
次の日の朝、天気予報で言っていた通り、大雨が降っていました。

ひゅーひゅー、ごーごー、ざーざー

まーくんは言いました。

「いっぱい雨が降っているよ！」

（焦った声）



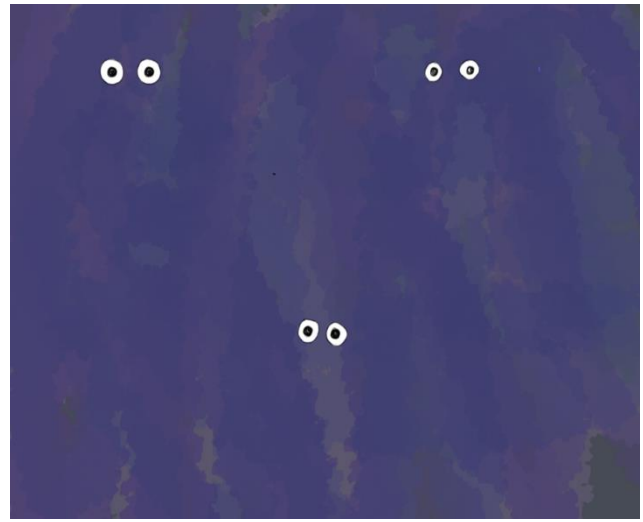


⑨

パパが  
「昨日、天気予報で言っていた通りだね。  
準備したものをもって2階に上がろう。」

まーくんとママは、  
「そうしよう!」と言いました。





⑩

2階に上がったとたん、電気が消え、お部屋が真っ暗になりました。

まーくんはびっくりしながら、

「どうしよう！ぼくの消防車がどこにあるかわからないよ！！」と言いました。

まーくんが困っていると、パパが

「まーくん安心して。ライトがあるよ。」

カチッ（同時にめくる）







②

パパがライトのスイッチを押すと、  
部屋が明るくなりました。

「僕の消防車、あった！」

と、まーくんは喜びました。





⑫

ママが

「お腹がすいたね。ご飯食べよっか。」

パパは、

「雨が止むまでは、もうちょっとここで

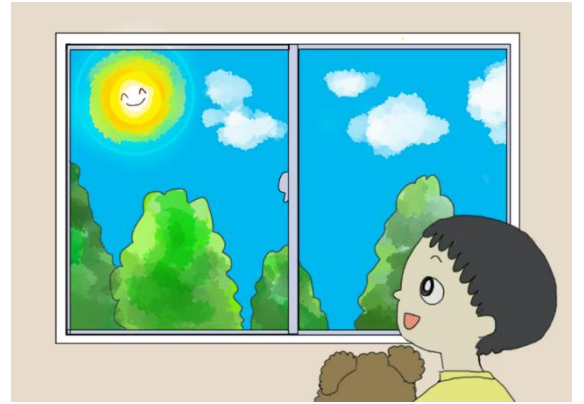
まっていようね。」

と言いました。









⑬

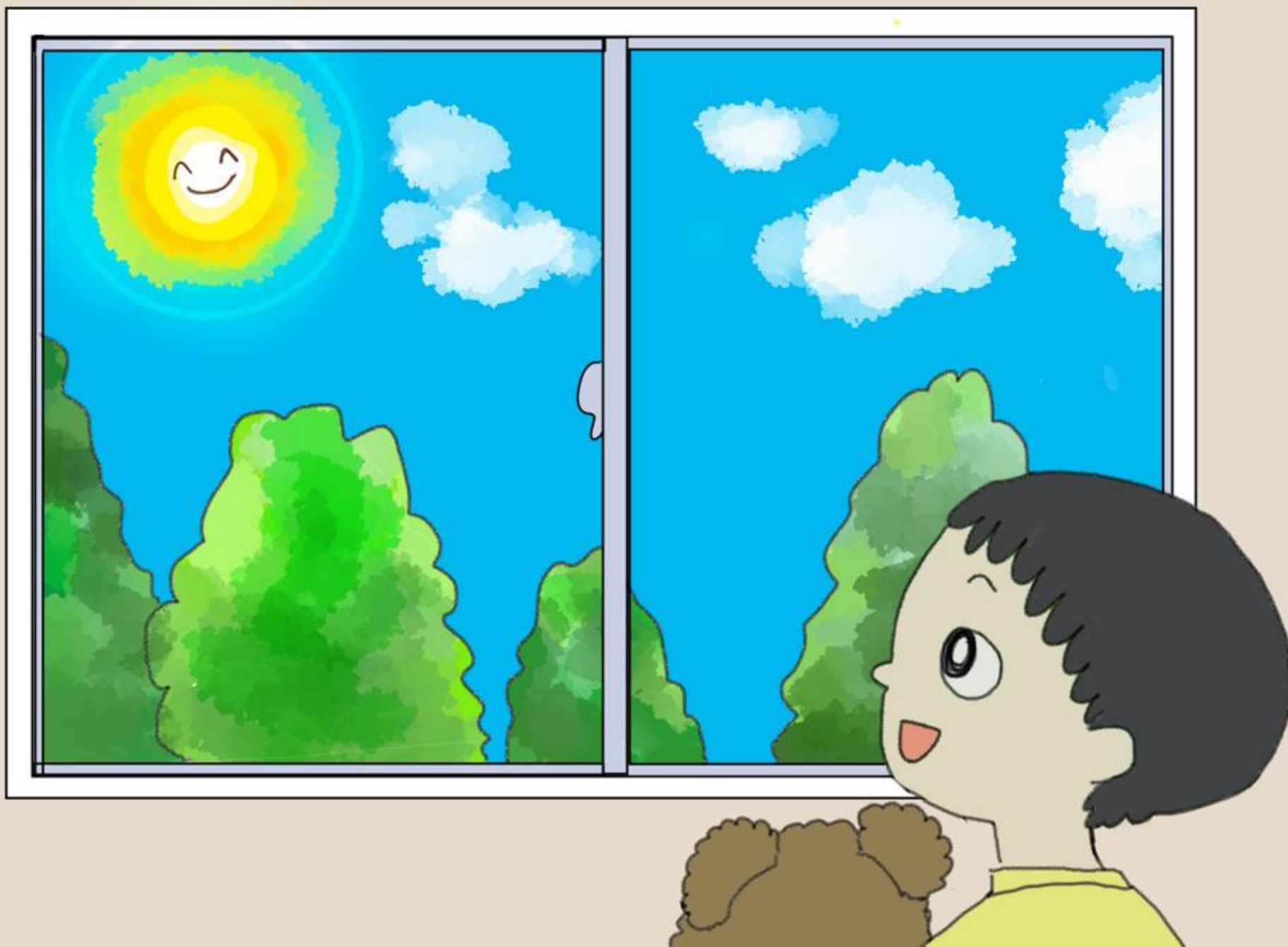
次の日、まーくんが目を覚ますと、雨はやんでいました。

本当は、雨の音がちよっぴり怖かったけど、パもママもマロン君もいたからもう大丈夫！

パパは、「みんなで2階に来てよかったね。」と言いました。

ママは、「次大雨が降った時も、同じように2階に逃げたら安心ね。」と言いました。

まーくんは、「うん！」と元気よく頷きました。  
おしまい。



# きみならどうする？

絵：ふう  
文：ひいふうみい  
ふくちやまし ぼうせい  
福知山市 コドモ防災



きみならどうする？

①

大雨・垂直避難編